

裏磐梯ビジターセンター秋の講演会

2014年11月13日(木)に、裏磐梯ビジターセンターで、「裏磐梯ビジターセンター秋の講演会」が行われ、黒沢先生と大学院博士後期課程1年の首藤さんが、「裏磐梯と外来生物問題」をタイトルに、講演を行いました。当日は吹雪でしたが、会場には裏磐梯地域の住民をはじめ、40名ほどの受講者の方々がいらっしゃいました。

黒沢先生と首藤さんの講演は、それぞれテーマが異なりました。黒沢先生の講演は、「外来生物問題概説」という題で、裏磐梯の貴重な生態系や生物の保全を行う上で、受講者に「目利き」になっていただくためのものでした。裏磐梯での侵略的外来植物の侵入段階、対策事例などを説明しました。オオハングソウ、キショウブ、コカナダモ、アレチウリなどの駆除が必要な侵略的外来植物と、園芸植物などの一般的な外来植物は区別する必要があるという説明が印象に残りました。首藤さんの講演は「裏磐梯の水草と水草を取り巻く水生外来生物」という題でした。講演内容は、イトイバラモやマルバオモダカなどの裏磐梯における貴重な水生植物や、ブラックバスやコイなどの侵略的外来生物の紹介と、侵略的外来生物が裏磐梯の水生植物に与え得る影響についてでした。また、オススメの水草スポットは、来年チャレンジしてみたいと思います。

受講者の方々からの質問や意見も興味深く、外来生物問題について改めて深く考えさせられました。

報告 黒沢研究室3年 山口昌子

